

令和2(2020)年産なし管理ポイント（第9報）

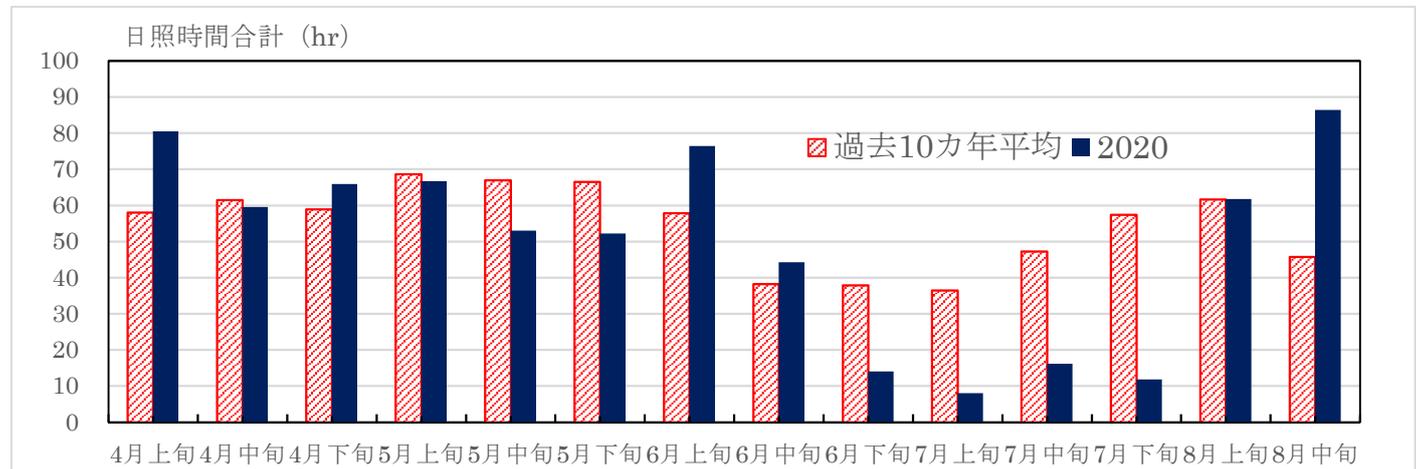
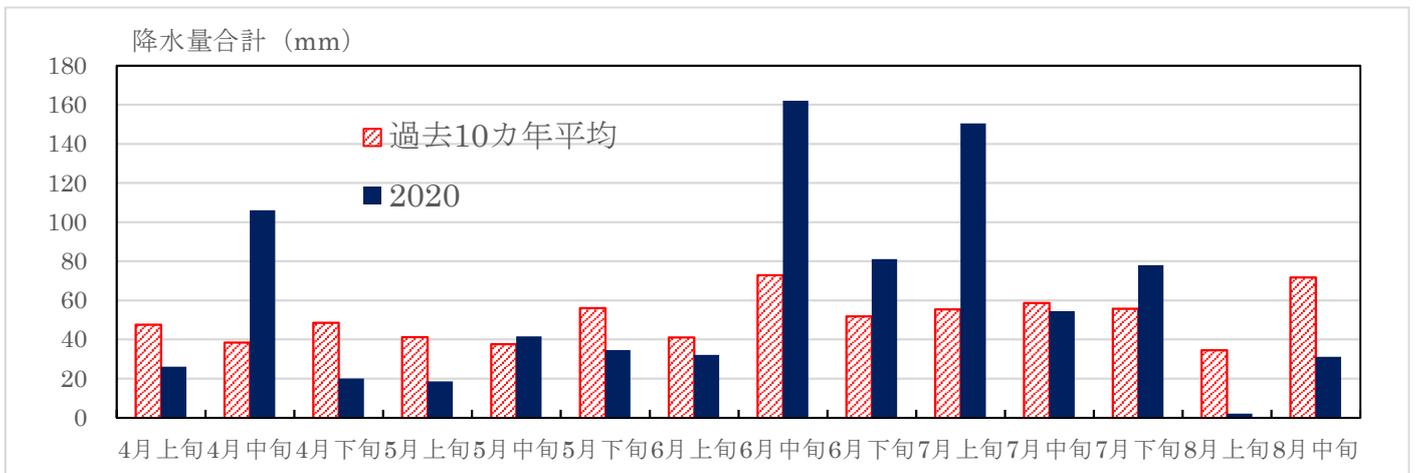
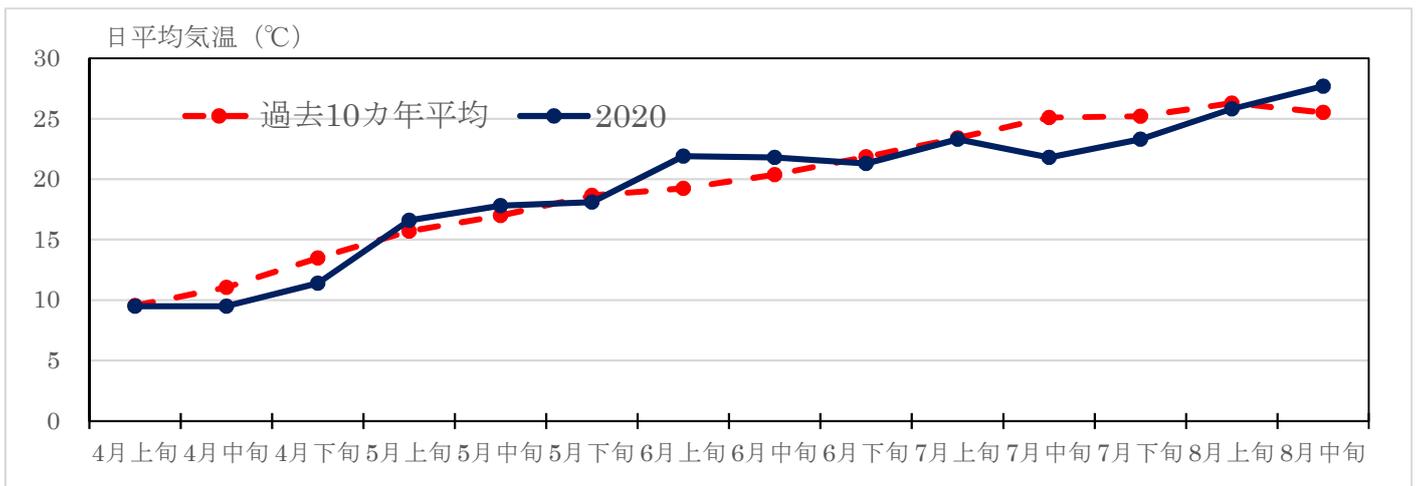
令和2(2020)年8月31日

栃木県塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

今回の重点ポイント

- 「豊水」の果肉障害果（みつ症、す入り等）の発生に注意
- 「にっこり」の品質向上対策（病害防除・着果管理）
- カメムシ、ハダニ等の発生に注意

1 気象経過（アメダス：那須烏山）



2 生育状況と今後の生育予測

(1) 生育診断ほにおける果実肥大状況

- ◇ 農業試験場の「豊水」は、満開後 120 日で平年比 89%。
- ◇ 農業試験場の「にっこり」は満開後 130 日で、平年比 92%。

表1 生育診断ほの果実肥大状況

品種	地点	開花盛		果実横径mm (満開後日数)						
				40日	60日	90日	100日	110日	120日	130日
豊水	那須烏山市	4/14 (-7)	本年	20.8			54.1			
			平年比	81			86			
	農業試験場	4/15 (-5)	本年	23.1	31.6	49.7	60.8	69.9	78.2	
			平年比	80	83	84	87	88	89	
にっこり	農業試験場	4/4 (-10)	本年	25.7	35.8	48.7	56.8	65.7	79.5	88.1
			平年比	84	88	85	86	86	92	92

(2) 生育診断ほにおける収穫予測

- ◇ 「豊水」は平年より4日早く始まり、同4日早く盛となる見込み。
- ◇ 「にっこり」は農業試験場で平年より2日早く始まり、5日早く盛となる見込みで、例年の傾向から管内でもほぼ同様の見込み。

表2 収穫期及び果実肥大の予測 (農業試験場 7/27時点)

品種名	地点	果実横径	果重	収穫始	収穫盛
豊水	那須烏山市			9/5 (-4日)	9/15 (-4日)
	農業試験場	95.3 (91)	433 (84)	9/4 (-5日)	9/15 (-6日)
にっこり	農業試験場			10/12 (-2日)	10/23 (-5日)

※ 括弧書きは平年比。「-」は早い、「+」は遅いの意。

(3) 「豊水」の果実生理障害発生予測と果実特性調査結果

- ◇ 満開後110日以降、試験場における比重は、「みつ症」多発年(平成19年)と同程度の値で推移している。
- ◇ みつ症の発生に関する「収穫前60日~41日の平均気温」は平年より1.6℃低かったことから、「みつ症」及び「す入り」の発生は平年並からやや多いと予想されている。
- ◇ 満開後100日の果実硬度が低く、「おせ果」の発生が懸念。

表3 豊水の果実特性 (比重および硬度)

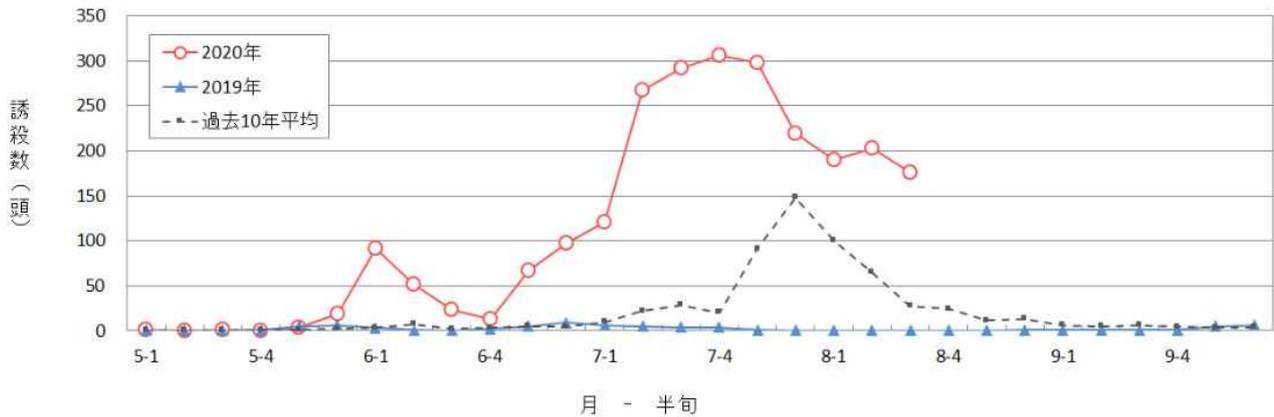
	満開後日数	90日	100日	110日	120日	130日
比	農試多発(H19)	—	1.030	1.028	1.028	1.026
	農試少発(H22)	1.045	1.039	1.033	1.030	1.029
	農試(R2)	1.048	1.037	1.026	1.027	1.024
重	高根沢町	—	1.027	—	—	—
	那須烏山市	—	1.034	—	—	1.018

	満開後日数	90日	100日	110日	120日	130日
硬	農試多発(H19)	—	9.5	7.3	5.5	4.5
	農試少発(H22)	29.6	23.8	15.4	7.9	6.0
	農試(R2)	13.9	13.0	7.8	7.0	5.2
度	高根沢町	—	11.1	—	—	—
	那須烏山市	—	14.6	—	—	5.6

(4)病害虫発生状況

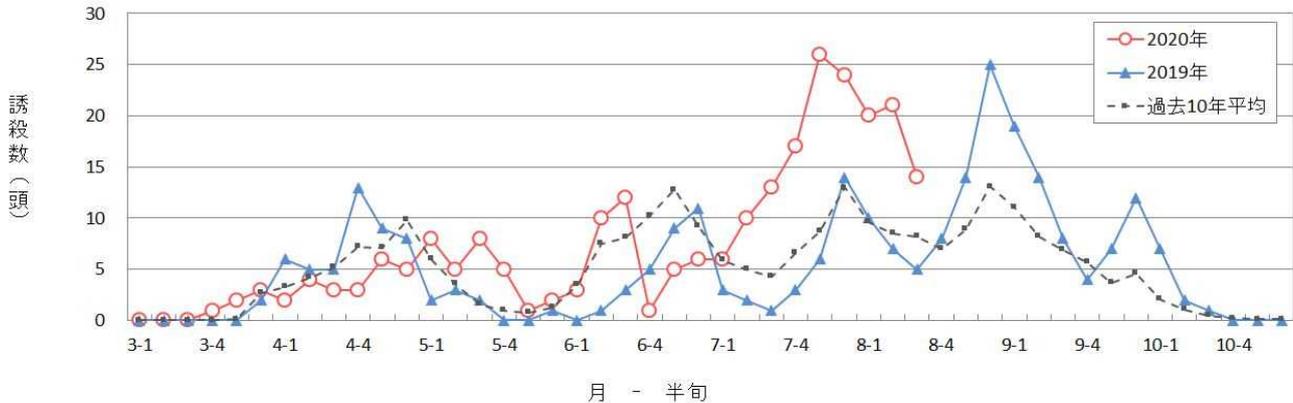
◇ カメムシ類の飛来は8月下旬まで多いことが予想される。

チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)

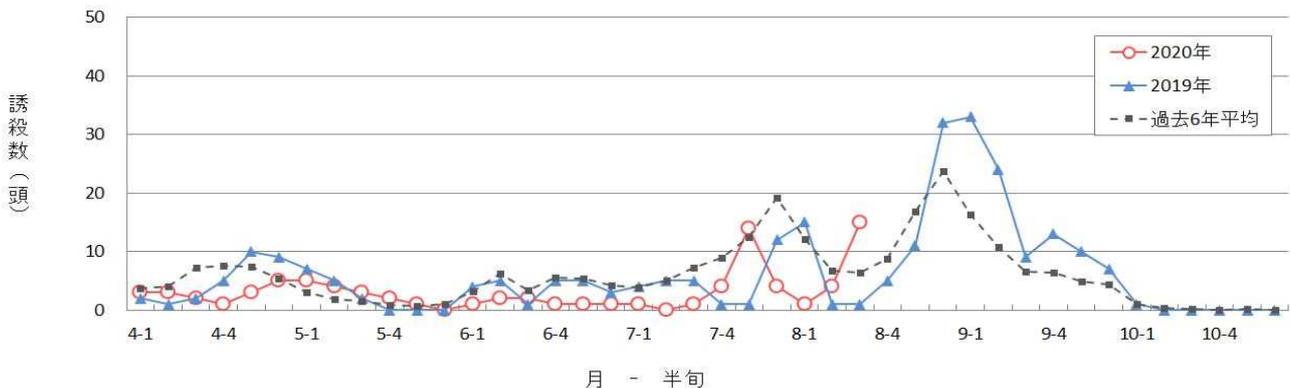


◇ ナシヒメシンクイ幼虫の発生は9月上旬まで続くと予想される。

ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (高根沢町)



3 今後の栽培管理ポイント

(1)「豊水」収穫時の注意点

- ◇ 満開後日数、果色、食味等を確認し適期収穫に努める。
- ◇ 収穫初期の「みつ症」や「す入り」の発生に注意する。
- ◇ 果実が過熟になると「みつ症」や「す入り」の発生が多くなるため、収穫が遅れないようにする。
- ◇ 表2の収穫期予測は、生育診断ほ（那須烏山市）における予測値なのでこれより開花が早いほ場は収穫が遅れないように注意する。
- ◇ 結実不良により1果そう当たり2果着果させている果実は、同時に収穫する。

(2)にっこのり品質向上対策

①病害（輪紋病）防除

- ・「にっこり」の輪紋病対策として、幸水収穫後、豊水収穫後、にっこり収穫直前に薬剤防除する（使用薬剤は「第8報」参照）。

②着果管理

- ・裂果が収まってから補正摘果を実施する。裂果は満開後130日頃発生する。今年の生育診断ほ（那須烏山市）では、8月15日が満開後130日。
- ・ほ場ごとの着果数を確認し、できるだけ目標収量を確保する。
- ・収穫時に柵線や枝に触れないように果実を配置し、品質向上に努める。

表4 にっこのりの最終着果数（目安）

品 種	着果数（果）		目標果重 （g／果）	目標収量 （kg／10a）
	10a当たり	1 m ² 当たり		
にっこり	9, 0 0 0	1 0	7 5 0	6, 0 0 0

※着果数は商品化率90%、樹冠面積占有率は90%で算出

(4)病虫害防除

①カメムシ類

- ・夜行性のため、蒸し暑い日の日没時に発生状況を確認する。
- ・夕方や早朝の防除が効果的。

②ハダニ類

- ・多発すると防除が困難になるため、発生初期の防除に努める。
- ・薬剤抵抗性が発達しやすいので、系統が異なる薬剤をローテーションで散布する。同一系統の薬剤は年1回のみを使用とする（使用薬剤は「第8報」参照）。

③ナシヒメシンクイ

- ・9月以降の気温が高い年は、第4世代成虫の発生が多くなり、「あきづき」以降の品種で被害が発生する場合があるので、9月下旬に追加防除を行う。
- ・防除適期は、成虫の発生直後（若齢幼虫期）。
- ・梨園の周囲に放任の核果類がある場合は発生源となるので同時に防除する。



農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！

身支度も
万全に！

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う（※）
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する

※既に購入されている農薬について、ラベルどおり使用できない場合もありますので、メーカーのチラシや県のホームページ等、最新の情報をご確認ください。

栃木県農業環境指導センター

検索

CLICK!

4 季節予報（関東甲信地方）

(1) 1か月予報（8/22～9/21） 8/20 気象庁発表

○特に注意を要する事項

- ・期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。

○予想される向こう1か月の天候

- ・天気は数日の周期で変わる。

○気温、降水量、日照時間の確率

・ 気 温	低 い	10%	平年並	20%	高 い	70%
・ 降 水 量	少 ない	20%	平年並	40%	多 い	40%
・ 日 照 時 間	少 ない	40%	平年並	30%	多 い	30%

(2) 3か月予報（9月から11月） 8/25 気象庁発表

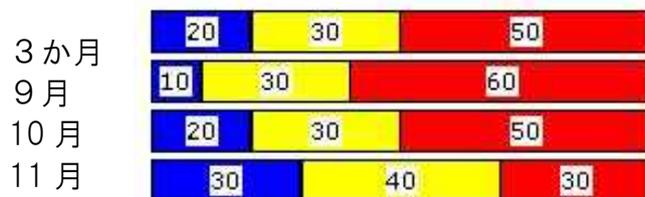
○予想される向こう3か月の天候

- ・ 9月 天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ曇りや雨の日が多い。
- ・ 10月 天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ晴れの日が少ない。
- ・ 11月 平年と同様に晴れの日が多い。

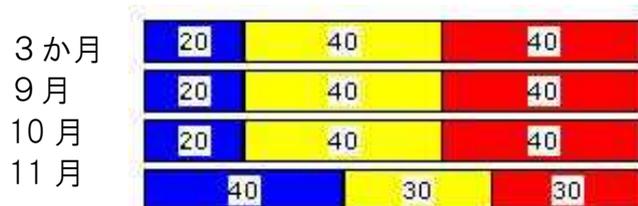
○気温、降水量の確率



【気 温】 [関東甲信地方]



【降 水 量】 [関東甲信地方]



なし管理ポイントはこちらからもチェックできます。

